



一貫コース通信

自分を後押ししてくれるのは、過去の自分！

今年度までを振り返って、私はこの成蹊学園で様々なことを経験させてもらっていると感じた。私は、公立の小学校・中学校・高等学校へ通い、一通り経験すべき学校行事に関しては経験してきたと思っていた。何か新しいことを経験し、学ぶことはそう多くないだろうとも思っていた。しかし、この成蹊学園に赴任してから、私は様々なことを経験することになる。

まず、強歩だ。次いで、尾瀬登山・林間教室・スキー教室と続いた。一番の収穫はスキーである。3年前に初めてスキーに触れた。私にとって、スキー場に行くこと自体が10年ぶりで、スキーは全てが初めてだった。私は、スキーには一生縁がないと思っていたため、ここで触れることになるとは予想外であった。スキーブーツを履くところから始め、少しずつ滑れる範囲が増えた。一番苦戦したのは左から右に曲がることだ。事前の練習で何度も転んだ。途中で「もう曲がれなくてもいいか。右からは曲がれるし」と思うこともあった。しかし、できる瞬間を信じて何回もチャレンジして滑り、曲がれるようになった。なにも根性論で何回も滑ったわけではなく、私には自分ができるまで取り組み続けられるという思いがあった。

話が少し脱線するが、私にとって高校3年生の時に大学入試のために取り組んだ1年間は、確実に現在の私の自信につながっている。特に10月から12月の3か月は学習を続けていても成績が上がらず、苦しい時期を過ごした。「このまま続けて意味があるのか」と何度も考えた。しかし、私は”人生の中で後悔しないのはどうすることか”と考え、それならばやり続けた方がいいと思い学習を続けた。ここで私は、例え上手くいかず苦しい中でも、やり続けることができるという自信を得た。この経験が生きたのが、まさにスキーである。

スポーツに限らず学習においても、何度取り組んでも自分の想像したように上手くいかない経験をしたことがあるだろう。もしかしたら、まだその経験途中かもしれない。とにかく、やめずに取り組み続けてみて欲しい。例え到達点が自分の思っている場所と違って、そこまで取り組んだ経験は確実に未来の自分を後押ししてくれる。

私は今もまだ、指導力向上のために、日々これで行っているのかと模索しながらも大学入試問題の研究を行っている。こうして数学の学習を続けられるのも、確実に過去の経験が今の自分を後押ししてくれているからだ。とにかく、やめずに取り組み続けてみて欲しい。

